

腸内細菌は体そのものを根本から変える

—「トーユーファーマシー」にみるアトピー性皮膚炎改善例

患者の思いにどう向き合うか。薬局も例外ではない。漢方相談&保険調剤薬局「トーユーファーマシー」の木島裕子薬剤師は、「患者さんの症状を改善したいと思い真正面から取り組みます」と語る。トーユーファーマシーでアトピー性皮膚炎が大幅に改善したU.K.さん(兵庫県出身・30歳代女性)の例から探ってみる。

私は子供のころからアトピー性皮膚炎を繰り返し、その症状を改善するため18年間、ステロイドを使っていました。しかし使つてみると効かなくなつります。ネットで「ステロイドは効かなくなる」と書かれていたので、自分で勝手に止めてしまいました。止めた途端に爆発的な症状が出ました。有名なステロイド離脱の病院に6年ほど通いました。2年でリバウンドは一旦治りましたが、その後2年後に再びひどい症状が現れました。そして感染症で入院までしました。

トーヨーファーマシーには昨年の8月18日、微熱があり足がぱんぱんにむくみ、それを何とかして病院に行き、そこの処方せんを持つて訪ねたのが最初でした。それまでは皮膚には傷が多く足がむくみ、それをとろうとサウナに行つて汗をかいでのです。

私は先生の話しぶりを聞いてお願いしてみようと思いました。一緒にいた母も「お願いしたら」と言いました。私の話を聞いてくれて「大丈夫ですよ、治りますよ」と言つてくれたのは先生が初めてでした。そして病院の処方薬と、先生に調合してもらった漢方薬などをもらいました。言われたところ飲むと、びっくりするくらい足のむくみが解消してきたので毎日毎日、本当にびっくりの状態でした。

これまでお医者さんに「助けてください」と言つても、ステロイドを出されるだけのことがほとんどでした。

私は先生のようになつて、木島先生のように「大丈夫ですか」と言つてくれます。体のおおもとから変わる治療をさせてもらいます。しかし強制はしませんよ」と言つました。それに処方の薬やサプリメントを食べる目的や理由などを一度に教えてくれるのではな



私が意識をしているのは患者さんの症状が治ついくときには必ず患者さん自身に分かつても

【木島先生のお話】

U.K.さんの症状
Before 2006年9月
After 2007年5月
水を多く飲みサウナで汗をかく
く徐々に教えでもらいました。



【木島先生のお話】
水を多く飲みサウナで汗をかく
く徐々に教えでもらいました。

いている話を聞き「水を攝りすぎて水のめぐりがうまくいかない。摑っている分、それが出ていないからむくむ」と言いました。体に余

る汗をかいていたのです。

計な水がたまることを「湿」とい

います。その湿が停滞すると熱に

変わります。アトピーは「湿熱」

です。だから熱をさます薬を使い

ますと言いました。私は、アトビ

ーは「腸」と「肝」を整えないといだ

めという考え方です。また、甘い

ものを食べるのを控えてください

という食事指導もします。

先生は「これまでここはこうだつたけど、今はこうでしよう」「首を触つて、こらん、以前と違うでしょう」とか言われます。そして「もう少し絆つたらこうなっていくよ」です。だから熱をさます薬を使いましょう」と言いました。私は、アトビーは「腸」と「肝」を整えないといだめという考え方です。また、甘いものを食べるのを控えてくださいという食事指導もします。

私は意識をしているのは患者さんの症状が治ついくときには必ず患者さん自身に分かつても

U・Kさんを見てすぐにアトピーの一だと思いました。アトピー以外の部位も表面的には何もないようでしたが、アトピーの根本治療をしていませんか。丈夫ですよ、治りませんか。丈夫ですよ、治りませんか。丈夫ですよ、治ります。体のおおもとから変える治療をさせてもらいます。しかし強制はしませんよ」とはつきり言いました。

私は先生の話しぶりを聞いてお願いしてみようと思いました。一緒にいた母も「お願いしたら」と言いました。私の話を聞いてくれて「大丈夫ですよ、治りますよ」と言つてくれたのは先生が初めてでした。そして病院の処方薬と、先生に調合してもらった漢方薬などをもらいました。言われたところ飲むと、びっくりするくらい足のむくみが解消してきたので毎日毎日、本当にびっくりの状態でした。

これまでお医者さんに「助けてください」と言つても、ステロイドを出されるだけのことがほとんどでした。

私は先生のようになつて、木島先生のように「大丈夫ですか」と言つてくれます。体のおおもとから変わる治療をさせてもらいます。しかし強制はしませんよ」と言つました。それに処方の薬やサプリメントを食べる目的や理由などを一度に教えてくれるのではな

しあわせ漢方相談
【トーヨーファーマシー】
漢方専門の女性薬剤師がゆくつとお話を伺います。



兵庫県宝塚市伊予志3丁目6-25
TEL 0797-77-9900
<http://www.toyu-pharmacy.com>



木島裕子代表取締役・薬剤師
愛知県出身 名城大学薬学部卒

【木島先生のお話】

私は「もっと良くなるよ。まだらうために指摘をします。患者さんにワクワクした気持ちになつてほしいし、「きっとよくなる」と思つてもらいたくて、皮膚疾患の方でなくとも言います。それと何とか力になりたいという思いがあります。

昨年の10月6日に眉毛が生え揃つてきて、11月くらいからお化粧ができるようになります。体の調子は良くなつてきていますが、本当にそれが実感できるようになってきたのは、12月の初旬くらいです。今の状態は、昨年8月を10としたら、もうゼロですね。以前は、いつも変な汁やべたつきがありました。普通の人の皮膚よりも少し悪いかもしれません、が痛いとかかゆいというのを意識しません。

たとえば日焼け止めもぬれるようになります。手がひび割れで何をするにも痛かった。セロテープがいちばんかぶれないでひび割れの部分に貼つていました。

今は手が痛くなく、物がつかめるのはすこくうれしい。物をつかむときに割れるからものすごく痛かった。それにふきんを絞つたりして普通の生活ができることがすごく

うれしい。現在は2週間に1度のペースで先生の薬局に通っています。治療のスピードが最も早くかったです。次に顔、そして手や首の順番ですね。私が最初に気になつたのは患部が熱を帯びてひどい炎症を起こしていました。何かいいアドバイスができないかなと思いました。处方せんのお薬を出してしまったら後は知らないという気持ちにはなれませんでした。保険調剤薬局の薬剤師の私と、漢方相談薬局の薬剤師としての二人の私がいます。せつから縁があつてお目にかかるので、何とかよくなつていただきたいと思いました。